

《地域絵図》

●地域絵図とは…

「地域絵図」とは、地域の地形構造や土地利用、各種空間構成要素の配置を一定程度、模式的にわかりやすく描画した俯瞰図のことです。

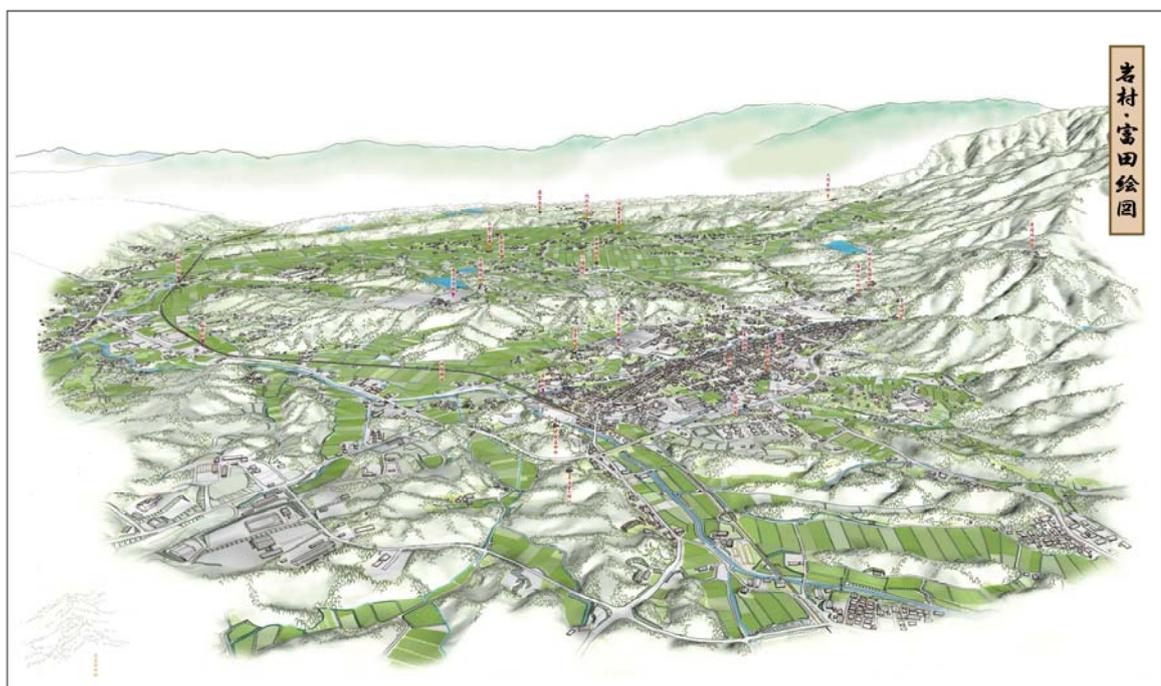
正確な地形図や写真が容易に利用できるようになった近代以前に描かれた絵図は、歪みや誇張があるものの、それがかえって地域の特徴や、人々がイメージする地域像をよく表現していたものと考えられます。

「地域絵図」は、このような近代以前に描かれていた絵図の描画手法を応用し、地域の骨格構造や景観的特色をわかりやすく表現することで、地域の人々が「自分のまちはこんなまちだ」と改めてイメージできるようにし、今後のまちづくりや景観づくり等の議論を行っていくための“ツール”として作成するものです。

また、ある程度理想化された姿を描くことで、地域のあるべき姿、目指すべき方向性を地域住民の間で共有化するためのツールとしても活用できます。



■江戸時代に描かれた絵図



■地域絵図の作成例（岐阜県恵那市岩村町）

●地域絵図の作成の効果と活用方法

- 地図や写真からではわかりにくい、地域の地形的、景観的な骨格構造やまとまり、地域間の関係や繋がりをわかりやすく理解することができます。
- 地域住民の方が、自分たちの住むまちの姿やその特徴を改めて再認識し、イメージを共有化することができます。
- 地域住民も交えた絵図作成のプロセスの中で、地域住民に大事にされている場所や要素、視点場や視対象、意識されている領域感などを明らかにすることができます。
- また、そのような場所や要素、領域感を強調し、ある程度理想化された姿を描くことで、目指すべきまちづくりの方向性を関係者間でわかりやすく共有することができます。

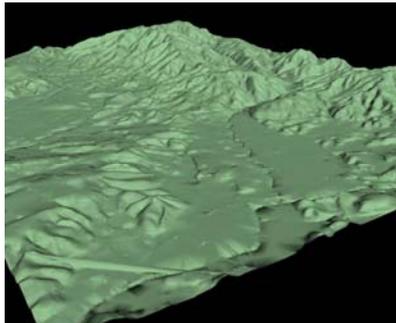
●地域絵図の作成方法

①描画範囲の検討・設定

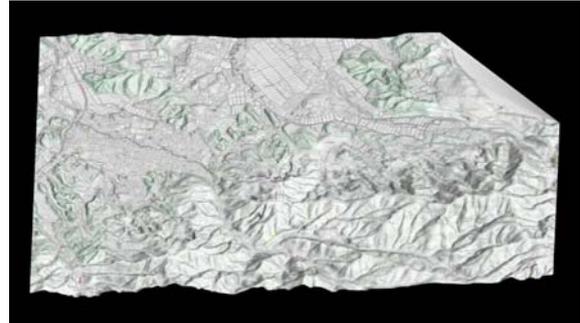
地域の成り立ちや、地形的・社会的な構造、地域住民の意見等を踏まえ、絵図を作成する描画範囲を設定します。なお、描画範囲を広くすると、個々の建物等を表現することが難しくなります。

②DMデータをもとにした3Dモデルの作成・地形図のマッピング

DMデータから等高線を抽出し、3Dモデルを作成するとともに、地形と土地利用の関係を把握するために地形図をマッピングします。



■ 3Dモデルの作成



■ 地形図のマッピング

③強調すべき要素の検討

地域住民を交えたワークショップ等により、絵図で強調すべき要素等を検討します。

- ・ 地形的な特徴
- ・ 河川、道路、鉄道など、地域の骨格を構成する要素
- ・ 地域イメージを形づくる重要な要素
- ・ 住民に親しまれ、地域の魅力となっている場所や建物、眺望等



■ WSによる検討

④アングルの検討・設定

地域の地形的特徴を踏まえ、地域住民が了解しやすいまちのイメージ、地域資源の分布状況等を考慮し、絵図を描くアングルを検討・設定します。

⑤空間構成要素の描画

マッピングした地形図をベースに、道路や鉄道、河川、山林のケバ表現、水田や畑地等の農地、建物等を描画します。

⑥地域イメージを踏まえた描画の表現方法等の調整

地域住民の意見等を踏まえ、細かな描画の表現方法等を確認・調整します。



■ 描画の表現方法の確認・調整

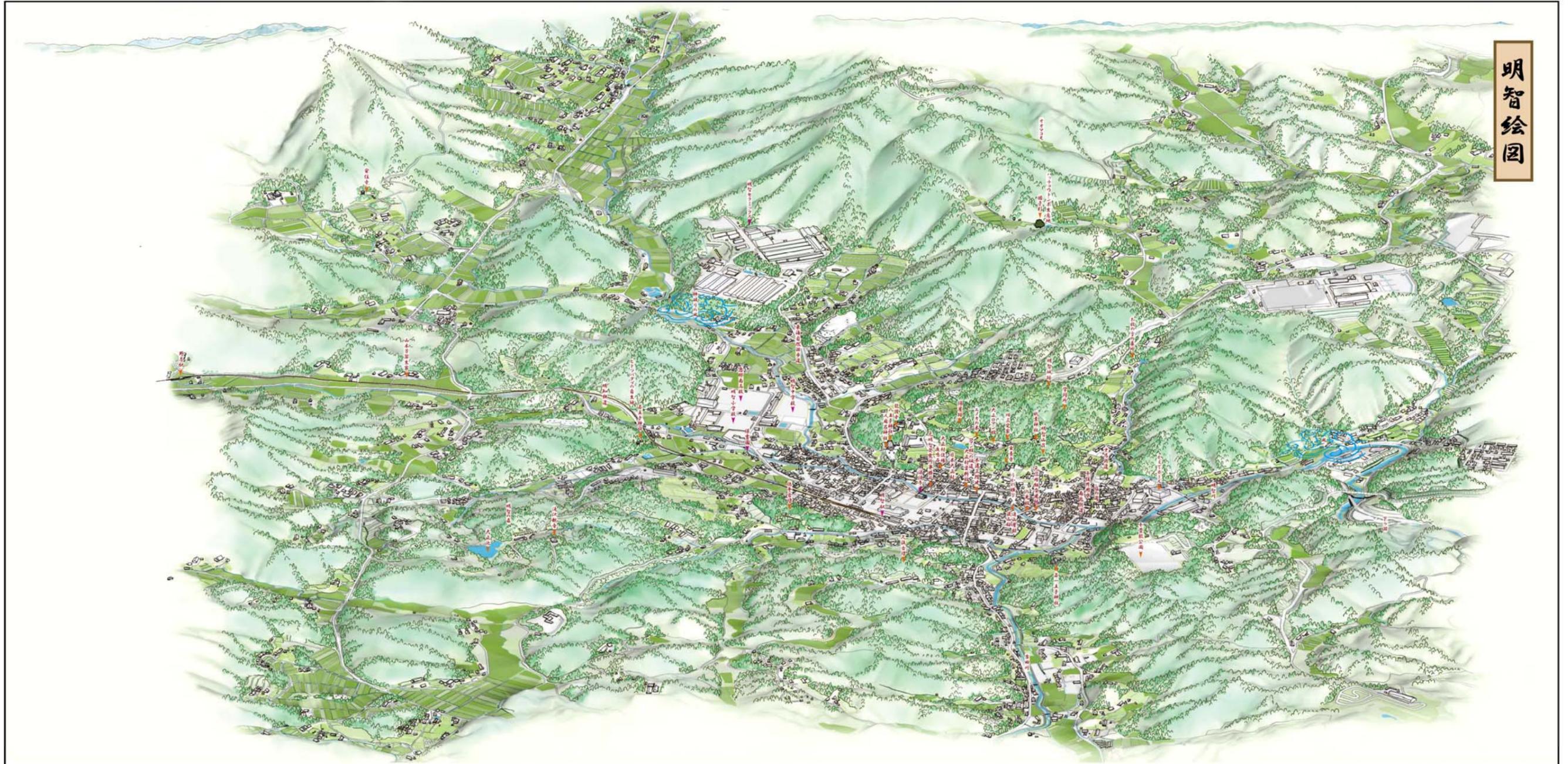
⑦名称等の書き込み

地域資源や地形、視点場等の名称を記入して絵図が完成します。

【地域絵図のイメージ①】



【地域絵図のイメージ②】



明智絵図

【地域絵図のイメージ③】

